



発行元：三鷹市東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等推進本部事務局

contents

- 1面・三鷹市がチリ共和国の「ホストタウン」「共生社会ホストタウン」に登録
- 2面・チリとの交流事業にご参加ください！ほか

三鷹市が

チリ共和国の「ホストタウン」「共生社会ホストタウン」に登録

チリと三鷹市は、チリにある世界最大級の電波望遠鏡「アルマ望遠鏡」と大沢にある国立天文台とのご縁により、東京2020大会に向けた事前キャンプの協定(令和2年3月18日付)を交わしました。2021年には、市内でチリパラリンピック選手による事前キャンプが行われる予定です。

市は、この事前キャンプを契機に、チリの「ホストタウン」「共生社会ホストタウン」として国の登録(令和2年10月30日付)を受けることで、東京2020大会後も継続したチリとの交流と、障がいのある方も含めたすべての市民が、相互に人格と個性、文化などを尊重し、支え合える共生社会の実現を目指します。



2021年夏、チリパラリンピック選手(卓球、アーチェリー)の事前キャンプが、三鷹市内で予定されています。

主な事業内容

- ① 相手国パラリンピアンや地元障がい者アスリートとの交流
- ② 日本人オリンピック等による講演会・競技体験の実施
- ③ 天文や「食」を通じたチリとの文化交流
- ④ チリ応援メッセージ動画などの作成と在日チリ大使との交流

チリとの交流事業に参加しよう！(裏面参照)▶

主なパラリンピック関連事業の取り組み



パラリンピアンによる水泳教室



車いすバスケットボール海外代表チームとの交流

「ホストタウン」「共生社会ホストタウン」とは

「ホストタウン」「共生社会ホストタウン」とは、東京2020大会を契機に地域の活性化を推進するため、国が地方自治体に登録を呼び掛けている取り組みです。

「ホストタウン」は、事前キャンプの誘致などを通じて、大会参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方自治体を対象としており、「共生社会ホストタウン」は、パラリンピアンとの交流をきっかけに、共生社会の実現に向けた取り組みを推進する地方自治体を対象としています。

登録を受けた自治体は、事業内容に応じて国の支援を受けることができます。

アルマ望遠鏡の最寄りのまち

「サンペドロ・デ・アタカマ」



MITAKA "2020" NEWS

チリとの交流事業にご参加ください!

オンライン開催

アルマ望遠鏡で知る最新の天文学講座

— 国立天文台の協力で最新の天文研究について講演します —

国立天文台の3人の天文研究者が、それぞれの立場から、小学生にも分かりやすく語ります。参加者との交流や、手話による同時通訳も行いますので、ぜひご参加ください。

- ◆日時 令和2年12月6日(日)
午前10時～午前11時
- ◆対象 市民(在学・在勤を含む)30組
(1人でも申込可)
- ◆内容 <ZOOMによるオンライン開催>
・チリやアルマ望遠鏡の紹介
・取り組んでいる研究内容の紹介
・その他質疑応答
- ◆参加費 無料
- ◆申込 11月27日(金)までに、右記二次元コードから
(電子申請サービス <https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo2/>)
お申込みください(申込多数の場合は抽選)
- ◆主催 三鷹市(協力:国立天文台)



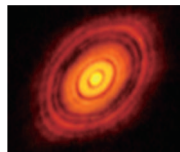
◆講師紹介



さかもと せいいち
阪本成一さん (国立天文台 教授)

1965年東京都調布市生まれ。専門は電波天文学。チリのアタカマ高地で運用中のアルマ望遠鏡の候補地調査から加わった中心メンバーの1人で、2016年からチリ赴任中。大学時代にボート競技で日本代表に選ばれた「体育会系天文学者」でもある。

- ▶アルマ望遠鏡が撮影した若い星「おうし座HL星」。惑星の材料となる細かな砂粒が星を取り巻いている
©ALMA (ESO/NAOJ/NRAO)

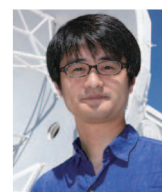


▶天の川の下で観測を行うアルマ望遠鏡 ©A. Duro/ESO



アンドレス・グスマンさん
(国立天文台 特任研究員)
使用言語:英語(日本語通訳有)

チリ共和国サンティアゴ出身。チリ大学天文学科を卒業し、博士号を取得。専門は星の誕生で、特に電波天文学観測で研究を進めている。2018年2月に国立天文台アルマプロジェクトに採用され、来日。



ひらまつ まさあき
平松 正顕さん (国立天文台 助教)

1980年岡山県生まれ。専門は電波天文学。大学院時代にチリ・アタカマ高地の電波望遠鏡を使って研究を開始。現在はアルマ望遠鏡の東アジア地域広報担当として、講演や執筆活動などにも従事している。

オンライン開催

チリのクリスマス料理教室

— 本場のチリ料理人から、チリ料理を学びましょう! —

チリ出身の料理家・ゴンザレスさんをお招きして、チリのクリスマス料理を学べるオンライン教室を開催します。料理が苦手な方やお子さんがあるご家庭でも楽しめるよう、冷凍のキット(2人分)をお届けします。ゴンザレスさんの人柄やチリの食文化に触れながら、チリの魅力を体感しましょう。

- ◆日時 令和2年12月12日(土)
午後2時～午後3時
- ◆対象 市民(在学・在勤を含む)25組
(1人でも申込可)
- ◆内容 <ZOOMによるオンライン開催>
チリのクリスマス料理
・バステルデチョコロ
(トウモロコシとお肉のグラタン)
・チリのサラダ(チリの国旗を模した三色サラダ)
- ◆参加費 無料
- ◆申込 11月27日(金)までに、右記二次元コードから
(電子申請サービス <https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo2/>)
お申込みください(申込多数の場合は抽選)
- ◆主催 三鷹市



バステルデチョコロ

チリ料理について

チリは、スペインを中心に多くの国からの移民で構成されており、スペイン系やフランス系、先住民など、民族ごとに使う食材が異なります。また、北から南に長い国土や、海面近くからアンデス山脈までの高低差など、地域によって大きく気候も異なり、広く多様性のある食文化を作り出しています。トウモロコシや、鶏肉・牛肉などの肉類、魚介類が多く使用され、日本でも人気があるチリ産のワインがよく合います。

◆講師紹介



リカルド・ゴンザレスさん

チリ生まれ。レストランを経営する一家に生まれ、その家庭環境で料理を学ぶ。1992年来日。大使館を中心としたケータリングビジネスで腕を磨き、現在はフレンチ、イタリアン、和食やフュージョン料理までレシピの幅を広げている。15年以上のシェフとしてのキャリアでは、著名なブランドのイベント、レセプションのシェフも務め、また数々の有名料理人との共同作業、レストランでの勤務経験は、文化や味覚に関する見識を深めると共に、自身の創作料理に生かされている。コンセプトは「温故知新」。

そのほかにも、多様な交流事業を実施します!

チリを応援する動画を作成します

チリの選手を応援するため、市民からの応援メッセージと、チリ国歌を斉唱する動画を作成し、三鷹市のYouTubeなどで公開します。

チリ大使と市民との交流会を行います

チリとの交流を促進するため、チリを応援する動画に出演する市民とチリ大使との交流会を行います。

ホストタウンのパネル展示を行います

ホストタウンの意義である「チリとの交流」や「共生社会の実現」と、市民のチリへの理解を醸成するため、パネル展示などによるPRを行います。



タッタカくん! スポーツニュースを配信中!

市内外のスポーツニュースを、三鷹市スポーツイベント応援キャラクター「タッタカくん」がTwitterから元気につぶやきます!(ユーザー名:tattaka_mitaka 右の二次元コードから登録可)



問い合わせ先:三鷹市東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等推進本部事務局(三鷹市スポーツと文化推進課)

☎0422-45-1151(内線2931)

※みたか"2020"ニュースは、年6回程度発行し、東京2020オリンピック・パラリンピック大会に関する情報や、市の関連イベントなどをお知らせします。

